

# 宮之浦・牟礼岡地域 (ルート1)

## ルート1ご案内

■所要時間 約3時間(徒歩)

- ① 鎮守神社  
▼ 5分
  - ② 吉水阿弥陀堂・田の神像  
▼ 5分
  - ③ イケンコ湧水  
▼ 15分
  - ④ 倉谷の湧水  
▼ 10分
  - ⑤ 百日咳の神様  
▼ 15分
  - ⑥ 倉谷下湧水  
▼ 15分
  - ⑦ 倉谷上湧水  
⑧ 赤滝  
▼ 50分
- 鎮守神社



▲鎮守神社



▲吉水阿弥陀堂・田の神像



▲イケンコ湧水



▲倉谷の水源(湧水)



▲百日咳の神様



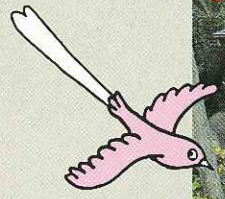
▲倉谷下湧水



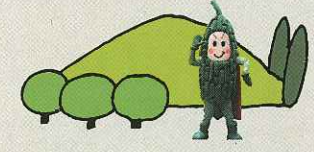
▲倉谷上湧水



▲赤滝



▲牟礼谷の牧神  
「山頂の巨巖」「牟礼神社」「馬頭観音」の三者を一緒に「牧神様」と呼んでいる。巨巖は百トンもあるという自然石で、頂上に蓋様の笠石があり、中には黄金の馬鞍が入っていると伝えられて昔から信仰の対象になっていた。



▲牟礼岡ウインドファーム  
風力発電用の風車3基が牟礼ヶ岡山頂に設置されています。その姿は市内の中心部からも望むことができるほど壮大なものです。



▲牟礼岡自然遊歩道



▲大口筋白銀坂  
白銀坂は、鹿児島市牟礼岡から始良町脇元までの石畳の残る旧街道で、古代における薩摩国(鹿児島市側)と大隅国(始良市側)の国境でした。江戸時代に入ると、白銀坂は薩摩藩の主要街道である「大口筋」上の難所として多くの人に知られていました。当時の道のり(約4km)のうち約2.7kmが残っており、今でも昔の面影が残されています。





# 宮之浦・牟礼岡地域 (ルート2)

## ルート2ご案内

■所要時間 約2時間(徒歩)

9 宮之浦の三重石塔

▼ 5分

10 宮之浦八幡神社

▼ 30分

11 二十三夜待石祠

▼ 15分

12 東目筋(日向筋)

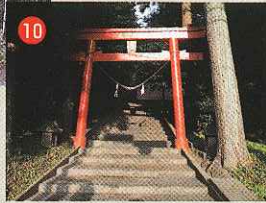
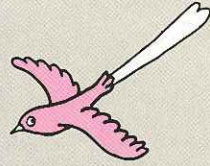
▼ 50分

宮之浦の三重石塔



▲宮之浦の三重石塔

「寛政十二年丑吉日奉供養講衆四十六人」の碑文がある。2.5mの高さを持ち、各層四方表面には梵字が刻まれており、寛政12(1800)年当時盛んだった庚申講の人々が建てた供養塔であると推定される。一説によると、毎年の水害をのがれるために供養したと言われ、俗称「ガラッパドン」の墓と呼ばれる。



▲宮之浦八幡神社



▲二十三夜待石祠



▲東目筋(日向筋)



## MEMO

Handwriting practice area with horizontal dashed lines.